

小平市平櫛田中彫刻美術館 開館30周年記念特別展 ジャパニーズ・ヴィーナス 彫刻家・藤井浩祐の世界

藤井浩祐(1882~1958、本名、浩祐)は、明治15年(1882)に東京神田錦町に生まれ、東京美術学校(現・東京藝術大学)に入学して彫刻を学びました。卒業後、オーギュスト・ロダンやコンスタンタン・ムニエなど海外美術の影響を受けながら、炭坑で働く人々のような労働者を主題にした作品を文展(文部省主催美術展覧会)に発表して注目を集めます。

大正5年(1916)、日本美術院に同人として加わり、平櫛田中(1872~1979)とともに彫刻部の中軸として活動を行うと同時に、そのような展覧会活動にとどまらず、建築装飾やメダル、トロフィー、筆皿、バックル(帯留)を制作するなど、彫刻と社会との接点においても積極的に活動しました。

また、美術に関する執筆も盛んに行い、美術雑誌における展覧会評をはじめ、彫刻の技法・啓蒙書である『彫刻を試みる人へ』(中央美術社、1923年)などによって、同時代の美術関係者、彫刻志望者たちに影響を与えました。

さらに、大正期に全国的に拡がりをみせた児童教育の変革運動をうけて、東京府内(現・東京都内)の小学校で自らの考えに基づいた「自由彫塑」の指導を実践しています。

このように生前の藤井は作品制作のみならず彫刻の普及にも大きく貢献し、昭和12年(1937)に帝国芸術院会員にも選ばれていますが、戦時中に空襲によりアトリエ及び作品の多くを焼失したに加え、多数の著名人を輩出した東京出身者だったこともあり、今日まで十分な検証は行われていません。

初の本格的な回顧展である本展では、彫刻を中心とする彼の幅広い領域の活動を紹介し、近代日本彫刻史における業績を検証いたします。



《裸かけた女》 珠山美術館蔵



《湯》 東京国立近代美術館蔵

美術講座

藤井浩祐の仕事

- と き 11月1日(土) 午後1時30分~
- 講 師 藤井明(当館学芸員)
- 申込み 当日会場へ(先着順40人)
- ところ 当館展示館
- 参加費 無料(観覧料は必要です)

開館30周年記念特別関連イベント

テノール歌手 秋川雅史トークショー 「彫刻とわたし」



- と き 11月8日(土) 午後1時30分開演(午後1時開場)
- ところ ルネこだいら 中ホール(定員400名)
- 料 金 無料 ※美術館特別展の観覧前売券(1枚500円)の購入が必要です。
- 申込み 事前申込み制(多数の場合は抽選)観覧前売券の応募券を往復ハガキに貼り付け、お申し込みください。
(詳しくは美術館ホームページ参照。または問合せ先へ)

- 締 切 9月29日(月)(当日消印有効)
※当選者への入場券の発送は10月上旬。当落に関わらず通知。

【観覧前売券の販売場所】

- ルネこだいら(電話:午前9時~午後5時 窓口:午前9時~午後7時)042-346-9000
- 平櫛田中彫刻美術館(午前10時~午後4時 窓口販売のみ(火曜日を除く))

【問合せ】

- ルネこだいら:042-345-5111
- 平櫛田中彫刻美術館:042-341-0098 美術館HP <http://denchu-museum.jp/>

講演会

近現代日本彫刻史のなかの藤井浩祐 —しなやかで清冽なる個性

- と き 11月15日(土) 午後1時30分~
- ところ 一橋大学小平国際キャンパス内 ※駐車場はありません。
- 講 師 田中修二氏(大分大学准教授)
- 申込み 10月18日(土) 午前10時から当館へ(電話可・先着順120人)
- 参加費 無料

お茶会

- と き 11月1日(土)~3日(祝) 午前10時~午後3時
- ところ 記念館庭園(荒天の場合は館内)
- 席 料 300円(別途、観覧料が必要です)
- 定 員 各日60人(先着順)
- 協 力 小平茶道華道友の会、津田塾大学表千家茶道部



《若い男》 足利市立美術館蔵



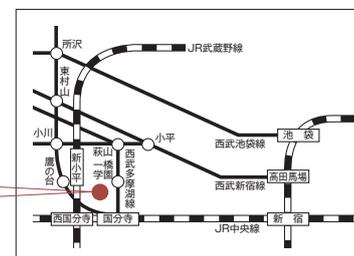
《瓜を切る女》 新潟市美術館蔵



《トロを待つ坑婦》 東京国立近代美術館蔵



〒187-0045 東京都小平市学園西町1-7-5
TEL & FAX:042-341-0098
URL:<http://denchu-museum.jp>



- 西武多摩湖線
「一橋学園駅」南口徒歩10分
 - JR武蔵野線
「新小平駅」タクシー5分
 - JR・西武線
「国分寺駅」タクシー5分
- ※当館に駐車場はありません。
近隣の飲食店「いろりの里四季亭」(上水本町2-19-22)の駐車場を無料で利用できます。詳しくはお問い合わせください。